

あさひかわ保育・幼児教育連携会議 会議録

日時	令和8年7月7日（火曜日）午後6時30分から午後7時55分まで
場所	旭川市総合庁舎 7階 会議室7B
出席者	・参加者 6名（五十音順・敬称略） 岩崎安貴子、楠井隆明、小山英明、椎名澄子、鶴間雅之、山本健太 ・事務局 4名 島保育推進担当課長、星こども保育課主査、小池こども保育課主査、早川こども保育課員
公開・非公開	公開
傍聴者の数	0人
会議資料	資料1 あさひかわ保育・幼児教育連携会議開催要綱 資料2 令和8年度の事業展開について 資料3 保育サポートコーディネーターによる施設巡回経過報告 資料4 保育の質の向上に係る公開保育の実施について 資料5 保育の質の向上に係るワークショップの実施について 資料6 優良事例自治体等調査について このほか、次第、参加者名簿、座席表を配付。

次第	発言者	発言内容
1 開会	事務局	〔定刻につき開会〕 〔配付資料の確認〕 ここからの進行は進行役をお願いします。
2 議題＜報告事項＞（1）あさひかわ保育・幼児教育連携会議開催要綱の改正について	進行役	「あさひかわ保育・幼児教育連携会議開催要綱の改正について」、事務局から説明を。
	事務局	〔資料1に基づき説明〕
	進行役	本連携会議の開催要綱改正について説明があった。 組織の名称変更に伴う改正であり、特段質問等なければ次に進む。
＜意見交換＞（1）令和8年度の事業展開について	参加者	〔了承〕
	進行役	「令和8年度の事業展開について」、事務局から説明を。
	事務局	〔資料2に基づき説明〕
	進行役	令和8年度の事業展開について説明があった。 質問や意見など伺う。 各取組についてはこの後の議題で詳細説明があるとのこと。質問や意見はそこで伺うこととしてよいか。
	参加者	〔了承〕

(2) 各事業の取組について ア 保育サポートコーディネーターによる施設巡回について	進行役	「保育サポートコーディネーターによる施設巡回について」、事務局から説明を。
	事務局	〔資料3に基づき説明〕
	進行役	事務局から保育サポートコーディネーターによる施設巡回について説明があった。 質問や意見など伺う。
	参加者	事務局の報告からも、現場の課題として量も質も求められていることがわかる。業務量に加えて発達が気になるお子さんや保護者対応が増加していると考え。園として乗り越えるべき課題をサポートしていただくとともに、園の力をつけていくことが大事だと感じる。
	進行役	他にあるか。
	参加者	資料から読み取れる結果と、自園の現場での課題としてもマンパワーの不足が挙げられる。あと一人いればと感じる場面があった。園の業務そのものや児童個別のことなど、いずれも職員の人数が課題として根本にあると感じる。
イ 保育の質向上に係る公開保育の実施について	進行役	「保育の質向上に係る公開保育の実施について」、事務局から説明を。
	事務局	〔資料4に基づき説明〕
	進行役	事務局から保育の質向上に係る公開保育の実施について説明があった。 質問や意見など伺う。
	参加者	全3回予定されているが、参加申込みは各回ごとか。
	事務局	各回ごとの申込みで準備を進めている。
	参加者	メールで公開保育の案内があったが、可能であれば実施日だけでももう少し早く示されると自園の職員を参加させやすい。
	事務局	承知した。現時点では2回目の実施日が9月9日で決定しているところ。
	進行役	他にあるか。
	参加者	今回のテーマは“やってみたい”を支えるということがメインになると捉えてよいか。
	事務局	そのとおり。年齢によって“やってみたい”の内容に違いがあることから、各クラスで話し合いを重ね準備を進めている。 保育の見学後は、担当している年齢児ごとに保育士同士のディスカッションを予定しており、相互に高め合う場としたい。
	進行役	他園の公開保育に訪れたことがない保育者も参加しやすいよう、柔

		らかいテーマ設定とするなど工夫が見られる。 まずは参加してもらい、保育者同士の対話や交流からつながりが広がるとよい。
	進行役	幼稚園は ECEQ の仕組みが整備されており、団体としても公開保育の経験が豊富と認識しているがいかがか。
	参加者	今年旭川地区でも ECEQ の公開保育を開催することになっており、9月26日に市内2施設と東神楽町1施設で3園同時に実施を予定している。そのほか、ECEQと形式は異なるが、9月5日に団体の道北ブロック研修会においても公開保育を実施する予定。いずれも定員の空き状況等を踏まえ御案内できればと思う。
	進行役	公開保育を経験されている園としての苦労なども伺う。
	参加者	これまで実施してきた公開保育は、設定保育を見てもらうというイメージが強く、終了後の活発な意見交流が難しい印象があった。 一方、ECEQの公開保育はどちらかと言えば自由遊びを見学してもらうという印象で、参加者が付箋等を使って意見が集まった段階で協議が始まり、議論が充実する印象がある。
	進行役	他にあるか。
	参加者	先般、保育の全道大会があり、市内2園から保育士が事例発表を行った。さらに若手保育士の学びを深めるため8月に勉強会を予定するなど、公開保育以外にも学びの取組は進めてきているところ。 一点伺うが、今回の公開保育の訴求対象は保育士や幼稚園教諭で、一般の方々に向けた公開ではないという認識でよいか。
	事務局	対象は保育士や幼稚園教諭等としており、一般向けの公開は行わない。
	進行役	他にあるか。
	参加者	資料中のデータにもあったとおり、公開保育は実施側の負担もあり、構えてしまう気持ちが強い。気楽にという意味で今回のタイトル「保育トーク&見学会『やってみたい』を支え合う」は非常に良い。
ウ 保育の質向上に係るワークショップの実施について	進行役	「保育の質向上に係るワークショップの実施について」、事務局から説明を。
	事務局	〔資料5に基づき説明〕
	進行役	事務局から保育の質向上に係るワークショップの実施について説明があった。 質問や意見など伺う。 前回会議で、様々研修等が増える中、ひとつの道に特化したスペシャリストがいなくなっていくという懸念もあったが、次年度以降のテーマについて提案等あるか。
	参加者	毎年トレンドは変わってくると考える。例えば最近であれば児童の

		プライベートゾーンやオムツ交換など含めた性の問題については年々、現場から話題に上がってきている。他にも虫を殺していいのかどうかということについても意見や価値観が分かれたりする。関心のあるテーマを募集するのもよいのでは。
	進行役	他にあるか。
	参加者	6回目のテーマ「主任のチカラ」は大事だと考えている、役職やステージが同じ者同士が話せる場を作りたいと思っていた。
	進行役	他にあるか。
(3) 優良事例自治体等調査について	参加者	非常に素晴らしい取組だと思う。テーマとして取り上げられているインクルーシブ保育は、現場の対応として難しさを感じたり思い悩むところでもある。素晴らしい講師陣に指導いただけるとのこと。しっかり取組を進めていただきたい。
	進行役	「優良事例自治体等調査について」、事務局から説明を。
	事務局	〔資料6に基づき説明〕
	進行役	事務局から優良事例自治体等調査について説明があった。 団体で予定している金沢市への視察について伺う。
	参加者	11月23日から26日までの日程で視察を予定している。25日の視察行程で金沢市幼児教育センターという行政施設を訪問予定であることから前回会議後に事務局の同行について提案を行った。
	進行役	事務局も前向きに検討しているとのこと。 他にあるか。
	参加者	企業から出る未利用素材を保育の制作遊びの素材として活用する取組として、こども素材センターという事業があることを知った。そのような素材を使って子どもたちの自由な製作や表現活動つながるという観点から、視察先の一つとして挙げて良いと思う。
	進行役	私からも情報提供を。佐賀女子短期大学と西九州大学短期大学部が、教育、研究、施設や設備の共同利用、学生や教職員の交流等を目的として協定を締結した記事を目にした。さらにこの2者に加え、地元の保育・幼児教育関係団体4者を含め、計6者で包括的連携協力に関する協定も結んだとのこと。今後、学生の教育、実習、就職、人材育成や共同研究の実施等に関して連携が進められるようだ。一つの養成校が単独で保育者を育てていくだけでなく、地域全体でこのような取組を進めることも今後重要になると考える。養成校としては保育現場との共同研究にも非常に興味を持っている。 他にあるか。
	参加者	公開保育や施設巡回など旭川市が実施していく一連のサイクルに関して、他都市で実績のある学び続けられる仕組みの構築方法についての調査も有効かと思う。

	進行役	昨年度の視察結果を参考に今年度の各取組に反映したものはあるか、事務局に伺う。
	事務局	昨年度の視察は行政の制度設計や庁内組織体制を重点的に実施してきた。今年度予定している公開保育やワークショップなどの各取組については、保育サポートコーディネーターによる施設巡回で伺った現場の声を中心に反映している。
	進行役	最終的に保育サポートコーディネーターによる施設巡回の調査結果によって様々課題は出てくると思うが、結果をその後どう活かしていくかについても参考になる事例があるとよい。
	事務局	結果のとりまとめやその後の事業展開については大学のアドバイスもいただきながら進めていきたい。
3 その他	進行役	全体を通じて何かあるか。
	参加者	資料2で示されている保育の質向上研修の変更点について詳細を。
	事務局	これまでも委託により実施している保育士等研修事業について、今年度から内容を2つに区分し、一方は従来どおりの形式で研修を進めながら、もう一方は研修内容にグループワークやディスカッションを多く取り入れることで、参加者の学びや個々のスキルアップを図ることを目的として研修形態の変更を行ったもの。
	進行役	他になければ終了としてよいか。
	参加者	〔了承〕
	進行役	本日の議題は全て終了し、進行を事務局にお返しする。
4 閉会	事務局	〔事務連絡を行った〕 以上で本日の会議を終了する。